

平成 29 年度第3回常磐公園の緑を考える集い 開催結果

日時 : 平成 30 年 3 月 23 日 (金) 14:00～16:20
会場 : 旭川市役所第三庁舎 2 階会議室
出席者 : 市内在住の市民 9 名
旭川市土木部公園みどり課 3 名
有識者 (常磐公園自然環境調査ワークショップ参加者) 2 名
配付資料 : 説明資料 (当日配布)
常磐公園パンフレット

○開催内容

- 1 開会
- 2 オリエンテーション
- 3 自然更新ゾーンについて
- 5 ブッシュについて
- 6 常磐公園の自然環境に関わる PR について
- 7 市民協働による維持管理について
- 8 閉会

自然更新ゾーンについて

- 説明資料のとおり，基本的に見守ることで異論無い。

常磐公園自然環境 PR について

- 「常磐公園で会える生きものたち」はホームページのみならず，様々な施設で配布できるとさらに PR 効果が上がると思う。

ブッシュゾーンについて

- ヨモギを植えてカンタンを呼ぶ下地を作るのはよいと思う。
- ヨモギを種から発芽・繁茂させることは難しいので，園内に生えているヨモギを移植するとよいのでは。時期は 5 月下旬がいいと思う。
- ヨモギ植栽の範囲は 2～3m×10m 程度から初めてみると良いのでは。今後，繁茂状況によって拡張を検討しても良い。
- ヨモギの植栽にあたり，対象面積すべての下草をすき取る必要は無い。植栽場所をピンポイントで掘れば良い。ある程度疎に植え，繁茂を期待する。
- ヨモギの植栽後，数年はヨモギの生長とカンタンの棲息状況を観測していくが，棲息が確認されない場合は，園内等で捕捉したカンタンをここに放つことも検討する。
- アンケートについて，ブッシュの目的を明確に明示しないと，一般の来園者にはわかりづらいので，アンケート冒頭のブッシュの説明文を工夫すべき。
- アンケートについて，今後はカンタンについてもアンケート内容に追加していく。（市意見）
- ブッシュ観測におけるリファレンス種はカンタンが良いと思われるが，それ以外は専門的知識が必要になるため難しいと思う。

市民協働による維持管理について

- これまでにさまざまな意見をいただいたが，優先順位等を考慮し樹木点検・外来種駆除・ブッシュおよび自然更新ゾーンの観測や対策に活動の軸としたい。（市意見）→異論無し
- アズマヒキガエル・ツチガエルの駆除対策は待ったなし。すぐに対策が必要である。
- アズマヒキガエルの生態・駆除について市環境部主催でセミナーがあるので皆さんで参加したい。（市意見）
- 樹木点検の対象木は樹高 3m では低い。5m が妥当ではないか。
- いずれにせよ診断には専門的知識が必要で，各々の樹木の特性がわからないと判断は難しい。
- 伐採や更新など最終的な評価はどのように決めるのか。生物の営巣状況など生態系への配慮し評価するには専門的知識が必要。
- 専門的知識が必要であることは理解できるが，常磐公園における樹木の更新は間近に迫った問題。人が集まる都市公園であることも考慮しながら点検は進めていきたい。